

# 在宅取組型・体験活動参加型(小学校)

学校名等	大野町立東小学校
実施日時	令和3年度の夏休み期間、令和3年10月5日(火)
会場	各家庭、学校
参加人数	47組の親子
学習課題(分野)	親子で楽しく「親子クッキング」・親子サイエンス教室 (基本的な生活習慣、自立心・家族の大切さ)
運営者の願い	開級式を集合して行えなかったこともあり、コロナ禍の中だからこそ、体験型の活動を行いたいと考えた。 夏休みには、親子でコミュニケーションをとって楽しく過ごしてもらいたいと考え、「親子で楽しく親子クッキング」を計画した。お手伝いから一歩進んだ「一緒に料理する!」という気持ちで、親子の信頼関係を深め、子どもたちの自信や達成感につながることを願った。

## 学習の内容

令和3年度テーマ・・・親子でふれあい・学び愛 ～乗り越えよう、コロナ!～

### <親子クッキング:取組の流れ>

- 7月中旬 『親子クッキング』の活動の説明
- 夏休み中 『親子クッキング』の実践
- 8月末 アンケートの回収  
(活動の写真はタブレットで撮影)

活動に無理なく取り組めるよう、夏休みに、3回のクッキングを呼びかけました。  
タブレットには楽しそうな子どもたちの姿が映っていました。

### <親子クッキング:アンケートより>

- 親 ・「危ないから」「忙しいから」と言って、なかなか一緒にクッキングすることがなかったけれど、これをきっかけにもっと経験させようと思った。  
・卵を上手に割ったり、包丁を使ったりと、できることが増えていて、嬉しい発見になった。
- 子 ・「おいしい」と言われて、とてもうれしかった。  
・みんながよろこんでくれた。  
・じぶんでつくったギョーザは、おいしかった。



【親子クッキングの様子】

### <親子サイエンス教室:活動の様子>

NPO 法人サイエンスものづくり塾「エジソンの会」の方を講師にお願いして、親子サイエンスショーを行った。活動前、新型コロナウイルスの感染が拡大したこともあり、できるだけ密を避け、感染対策を行ったうえで、学級ごとの開催とした。

### <親子サイエンス教室:アンケートより>

- 親 ・大人も体験することができ、楽しかった。  
・子ども自身が体験することで興味をもてた。  
・「なんで?」「どうして?」と驚くことがたくさんで、面白かった。  
・授業参観の時とは違う子どもの姿が見られて、成長を感じた。
- 子 ・もこもことあわがでて、びっくりした。  
・ふしぎがいっぱいだった。  
・もっとあそびたかった。



【親子サイエンスショーの様子】

### <活動を振り返って>

コロナ禍でも、家庭教育学級の役割を保護者のみなさんに知ってもらうことで、楽しい活動を通して、子どもたちの成長を改めて発見することができた。在宅取組型はもちろん、体験活動参加型で交流したり、お互いに刺激し合ったりすることのよさを改めて感じた。



## 家族の絆の深まり

家族と一緒にクッキングをしたり、食べたりする活動を通して、ゆとりをもって子どもたちと活動を楽しむことができました。

食への興味や、家族から褒められた経験が、さらなるお手伝いへとつながっていきました。



## 自己肯定感の育成

家族のためにクッキングに挑戦して褒められたことや、「できた」という達成感が、自信につながりました。



## 子どもの成長を感じる場

クッキングでも、サイエンス教室でも、進んで挑戦する姿や、好奇心をもって活動する姿などを見ることで、子どもの成長を感じることができました。

それを親子で話し合うことで、コミュニケーションの場にもなりました。

